

	検査項目	検査対象	基準値	検査結果に関連する病気・症状
各種がん検査	● 腫瘍マーカー・・・がんが発生したときに血液や尿中に増えることがある、特殊なたんぱく質やホルモン等を測定する。がんの再発の発見等のために、補助的に利用される。 ※この検査だけでがんの診断はできない			
	C E A (がん胎児性抗原)	おもに消化器系や子宮がん等の診断に補助的に用いる	2.5ng/ml以下 (サトウシツ法)	胃がん、大腸がん、肺癌、膵臓がん、肝臓がん、子宮がん、乳がん、肝硬変、肝炎 胃潰瘍、喫煙等
	A F P	おもに肝臓がん等の診断に、補助的に用いる	10ng/ml以下	肝臓がん、肝炎、肝硬変、糖尿病、胃がん等
	C A 19-9	おもに消化器系のがん等の診断に、補助的に用いる	37U/ml以下	膵臓がん、がん、胆道がん、大腸がん、胃がん、慢性膵炎、胆石等
	C A 125	おもに消化器系や卵巣・子宮のがん等の診断に、補助的に用いる	35U/ml以下	卵巣がん、子宮がん、胆道がん、膵臓がん、子宮内膜症等
	P S A (前立腺特異抗原)	おもに前立腺がんの検診や診断に用いる	50～64歳：3.0ng/ml以下 65～69歳：3.5ng/ml以下 70歳以上：4.0ng・m l 以下	前立腺がん、前立腺肥大症、急性前立腺炎等